

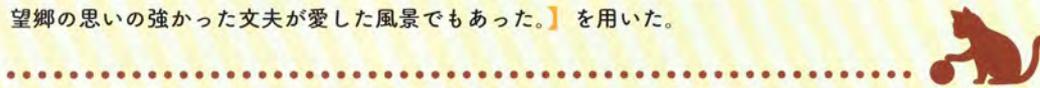
朝倉文夫の後輩たちによる野外制作「巨大寝ころび招き猫」

朝倉文夫記念館では、「第33回国民文化祭・おおいた2018」、「第18回全国障害者芸術・文化祭おおいた大会」の豊後大野市におけるリーディング事業（協力：大分アジア彫刻展実行委員会）の一環として制作した「巨大寝ころび招き猫」が9月2日完成した。

「巨大寝ころび招き猫」は、像長10.4m、像高3.7m、幅2.5mの大物。わが国の近代彫塑の歴史を切り拓いた豊後大野市出身の朝倉文夫の後輩達【現在の東京藝術大学の彫刻部を率いる深井隆教授をリーダーに、同彫刻科の非常勤講師、助手、卒業生、大学院生ら合計10名】が、朝倉文夫の重要な素材の一つであった「猫」をテーマに作成し、このたび朝倉文夫記念館横の円形広場に完成・設置した。

この「巨大寝ころび招き猫」は木製。寄木造。材料となった木は豊後大野市産の杉。現地を事前調査した深井教授らがその材質に惚れ込みこれを使用。

4.4mに及ぶ「しっぽ」の先には、豊後大野市の市の木「クヌギ」【クヌギが立つ景色は、東京に住み、望郷の思いの強かった文夫が愛した風景でもあった。】を用いた。



制作スタッフ



彫刻家。1951年群馬県生まれ。1976年東京藝術大学美術学部彫刻科卒業。1989年平櫛田中賞。2013年紫綬褒章。1984年より東京藝術大学美術学部彫刻科で指導にあたり、現在教授をつとめる。2006年開催の第8回大分アジア彫刻展より審査委員をつとめる。馬、椅子、本といったモチーフを木彫で展開。金箔を用いたバロック的な作風に特徴がある。

深井 隆

- 山口 桂志郎（非常勤講師） ● 北山 翔一（教育研究助手）
- 赤穂 進（教育研究助手） ● 純浦 彩（卒業生） ● 張 龍（博士2年）
- 稲垣 慎（修士2年） ● 成田 麻美子（修士2年）
- 加々見 太地（修士1年） ● 澤村 崇太郎（修士1年）



関連事業 ワークショップ「絵馬を作ろう」

特製絵馬に好きな絵を描いて、世界に一つだけの絵馬を作ろう！

《日時》10月21日（日）【午前の部】10:00～12:00 【午後の部】13:30～15:30

《会場》朝倉文夫記念館横 円形広場

《講師》山口桂志郎先生（東京藝術大学非常勤講師）

成田麻美子さん、川口佳緒里さん（東京藝術大学大学院美術研究科修士課程2年）

《定員》各部15名

《対象》小学生以上（ただし小学生は保護者同伴に限る）

《申込方法》朝倉文夫記念館（0974-72-1300）へお電話ください。

《参加料》無料

※作品は会期中展示した後にお返しします。

同時開催（以下の展覧会は9月29日からご覧いただけます。）

★第14回 大分アジア彫刻展 《会場》朝倉文夫記念文化ホール

大分県豊後大野市出身で日本近代彫刻の基礎を築いた彫塑家 朝倉文夫（1883～1964）の顕彰を目的として、1992年から始まった彫刻展。朝倉文夫が若い彫刻家たちの育成に熱心だったことから、アジアの国と地域に住む新進彫刻家の発掘と育成を目指して大分県と豊後大野市が共催で隔年で開催している。14回目となる今回は、アジア15カ国から318点の応募があり、その中から選ばれた入賞・入選作品30点を展示。

9月29日（土）には開会イベントを開催！

豊後大野の郷土芸能、食、アートを楽しめるイベントがもりだくさん！

- ◆ ステージイベント … 深山流朝地神楽保存会・吉川忠英（アコースティックギターライブ）
- ◆ アートコーナー … 朝地町竹工芸クラブ・天神こけ玉愛好会 作品展示販売
ミニフラワーアレンジメント体験
- ◆ グルメコーナー … 女猟師の加工所による「しし汁無料配布」、郷土料理の販売、
ぶんごおの軽トラ市、お茶席 など

★おおいたこども彫刻展 《会場》朝倉文夫記念文化ホール、朝倉文夫記念館

大分県内の小中学生から応募があった立体造形作品を全作品展示。

★「巨大寝ころび招き猫」制作記録写真展 《会場》朝倉文夫記念公園内 ギャラリーやすらぎ

第33回国民文化祭・おおいた2018／第18回全国障害者芸術・文化祭おおいた大会の豊後大野市リーディング事業「巨大寝ころび招き猫」完成までの様子を紹介。（撮影：竹内康訓）



【大分市方面から】大分自動車道「大分米良IC」～中九州横断道路「大野IC」～豊後大野市大野町養老信号右折約10分（大分市より約60分）
【熊本市方面から】国道57号線～豊後大野市大野町養老信号左折約10分（熊本市より約120分）

JR豊肥本線「朝地駅」下車、タクシーで約10分

宿泊のお問い合わせはトラベルセンターまで TEL:097-532-5923 FAX:097-538-3168